

# ふれあい

第65号(平成30年10月31日)  
 阿品台コミュニティ事務局(TEL39-4338)  
 阿品台地区人口・世帯数(平成30年10月1日現在)  
 人口 7,621人(90人減) 男3,461人 女4,160人  
 世帯数 3,337世帯(18世帯減)・高齢化率 37.4%(1.2%増)  
 ( )内の数値は平成30年2月1日との比較

# 阿品台東小学校 開校40周年

廿日市市立阿品台東小学校 校長 石井 浩樹



阿品台東小学校は、地域の皆様をはじめ多くの方々のご理解とご支援をいただき、本年度創立40周年を迎えることができました。あらためて地域の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

本校は、昭和54年に地御前小学校から分離独立し開校しました。昭和57年には1,000名を越える児童数となり、阿品台西小学校に分離しましたが児童数は増え続け、平成元年には1,171名の児童を抱えるマンモス校となりました。その後は徐々に児童数が減って、現在は265名となっています。

これまで本校では、広島県小学校不登校対策実践指定校として、生徒指導に力を入れて取り組んできました。現在は、生徒指導に加えて学力の向上を重点課題として、授業改善や補充指導に取り組んでいます。

地域の皆様には、授業に入って子どもたちに声をかけてもらったり、丸付けをしてもらったりして学習の支援をしていただいています。また、阿品台市民センターで行われている木曜塾では、子どもたちの宿題をみてもらっています。他にも、地域などの見学において、引率等の協力をしてもらっています。このように、日頃から地域の皆様に子どもたちの学習を支えていただいています。

そして、地域の皆様には学習の支援だけでなく、子どもたちが安全に登下校できるように、登下校の様子を見守っていただいたり、心配なことがあると見回りをしていただいたりしています。職員一同、このような地域の皆様のご支援にとっても感謝しています。

本校は、これまで地域の皆様に支えていただきながら歩んでまいりました。これからも地域の皆様のお力を借りながら、地域の学校として子どもたちが阿品台を好きになり、自分たちが住む阿品台に誇りが持てるよう、子どもたちに地域を愛する心を育てていきたいと思ひます。今後も引き続きご支援いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

1980年(S55年)頃の阿品台



私は平成2年に新規採用教員としてこの阿品台東小学校に赴任し、平成7年まで6年間お世話になりました。

当時の阿品台東小学校は児童数が1,000人を超え、廿日市で有数のマンモス校でした。学年6クラスあった年もあり、高学年の教室は今の管理棟の端にありました。(1階は1・2組、2階は3・4組、3階が5・6組)。理科室や音楽室は2教室ありましたが、今は、阿東っ子ルーム、パソコン教室に変わっています。学級数が多いので、特別教室やグラウンド、体育館などを使う授業は時間が細かく決められていました。

休憩時間になると、今とは比較にならないくらい多くの子ども達が外遊びを楽しんでいました。サッカーゴールの使用は学年ごとに曜日や時間によって決めなければならないほどでした。また、大グラウンドの端には木製のアスレチックがあり、ターザンロープが人気でした(平成3年には、老朽化のため撤去されました)。

小グラウンドは今のような森はなく、遊具がたくさんありました。飼育小屋でも鶏やウサギを飼っていたように思います。



授業日数も大きく変わりました。私が赴任した当時は、土曜日にも授業がありました。平日は高学年でも5時間の日が多く、放課後は子どもたちと遊んだり、居残り勉強をさせたりしたことを思い出します。その後、段階的に土曜日が休みになり平成7年には完全5日制になりました。月曜日から金曜日までは木曜日を除き毎日6時間授業となり、今日に至っています。

PTAの皆様とは、夏祭りだったと思いますが一緒になってグラウンドにお化け屋敷を作ったり、ソフトバレーボールを一緒にさせていただいたりしたことが心に残っています。

当時も今も変わらないのは、素直な阿東っ子と先生方です。子ども達は楽しいこと、つらいこと、悲しいことを友達や先生と共有し、成就感や達成感を味わい、困難を乗り越えています。先生方は子ども達の無限の可能性を信じ、優しく、時に厳しく正面から子ども達に向き合い指導に当たっています。

今も昔も、子ども達は先生や友達とともに学級という小さな社会の中で様々なことを学び、たくましく成長していると思います。

終わりに、20数年ぶりに戻ってきた阿品台東小学校は、地域の皆さま(当時保護者であった方々も多数お見かけします)の温かいご支援を受けながら、当時と同様に活力にあふれ、新たな魅力のある学校になっていました。今後も引き続きご支援いただきますよう、よろしくお願いたします。

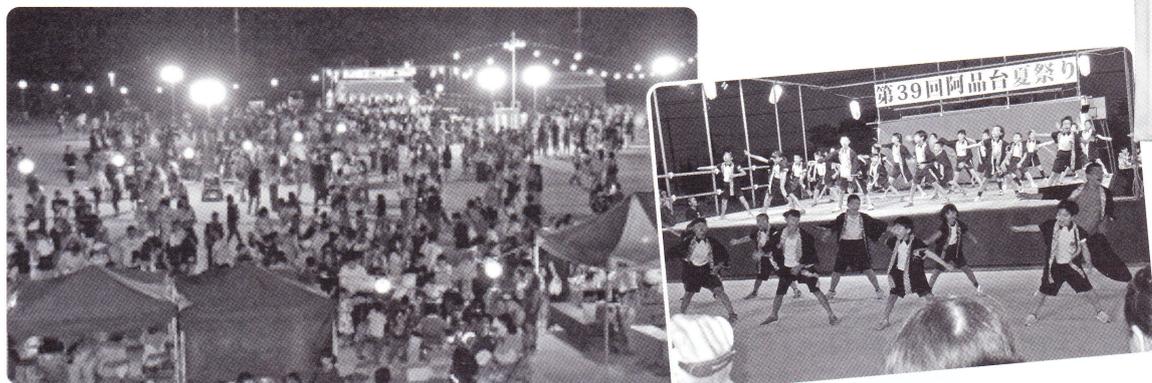


# 平成30年度 阿品台コミュニティ前期事業

## 第39回 阿品台夏祭り

8月4日(土) 午後6時より第39回阿品台夏祭りが開催されました。

コミュニティの関口会長は挨拶の中で、西日本豪雨災害に触れ全員で犠牲者に対し1分間の黙祷を捧げました。また、会場には義援金の樽募金の「たる」が設置されていました。舞台上では、次々と今まで練習してきたグループのダンスなどが披露されました。今年は、例年以上に暑い日が続きましたが、本日の夏祭りには大勢の方が参加され楽しまれていました。



## あいさつ運動

走行中の車を黄色の旗で止め、「はいどうぞ」と登校中の小中学生、そして一般人をも誘導されるボランティアの方々がおられる。

阿品台地区二十数カ所に阿品台コミュニティ・PTA・一般ボランティアの有志が参加されています。毎朝7時30分～8時頃の間、横断歩道で、安全見守り活動を続けられています。

交通整理をしながら小中学生に「歯はよくなった」とか登校を嫌がる子に「学校へ行かんといけんよー」と声掛けをするなど、まるで自分の孫に接するように、温かく対応されている姿に感心しました。笑顔と和の雰囲気にも包まれている十字路である。

年1回は小学3～4年生から、お礼状が届き、見守りに対する感謝の心が込められているという。この地域が好きで、良くしたいという住民の思いの表れであり、日々の優しいご尽力に感謝します。地域活動の一環として、子どもの安心、安全を確保する意味からも、地域にとり欠かせない存在となっています。しかし、人数が不足しているのが現状です。取材に応じていただいた方から、週1回でも月1回でも協力して欲しいとのこと。ご協力いただける方は阿品台東小学校(0829-39-5358)まで連絡していただければ幸いです。



## 青少年・体育部

### ウォーキング&宝探し

○日 時：平成30年6月17日(日) 9:00～

○参加者：2.5 km 66名(内子ども41名)、

4.1 km 16名(内子ども7名)役員含め、合計102名

阿品台東小学校の体育館では、日赤看護大学の学生さんによる血圧などのチェックと予備体操などを行いました。梅雨とは思えない快晴の中、終点の阿品公園を目指して出発しました。全員、無事にゴールに到着しました。暑かったので、冷たいジュースなどで休んでから宝探しをして楽しい一日を過ごしました。



## 文化・女性部

### 母の日カーネーションコンサート

○日時 5月13日(日)  
13:30～14:50

○場所 阿品台市民センター  
大研修室 参加者 70名

カラーリリーとしてマリンバ演奏に取り組んでいる荒木さん、松本さんに出演頂きました。荒木さんは平成21年の母の日コンサートに実姉の瞳さんと出演されていて、マリンバと楽しいトークを加えての素敵なコンサートでした。お帰りにはカーネーションを一輪ずつ皆さんにお持ち帰り頂き、お母さんに感謝を伝える一日となりました。



### 春の日帰り研修旅行

○日時 5月25日(金)8:30～18:00 参加者 44名

○場所 福留ハム見学

～温井ダム放流～大朝のテングシデ群落

福留ハムを見学、桜の花びらをした「花のソーセージ」は昭和27年からのヒット商品で、今では広島の名物となっています。本場ドイツよりマイスターを招きオリジナル商品の開発にも取り組んでいるとの事です。続いて訪れた安芸太田町の温井ダムは、アーチ式としては黒部ダムに次ぎ二番目の高さを誇り、この時期水位調整で放流しています。下から見上げる放流は大迫力で水しぶきを浴びながら歓声を上げていました。最後は北広島町のテングシデ群落を見学、木の幹や枝がクネクネと曲がり不思議な形をしており、「大朝のテングシデ群落」として国の天然記念物に指定されています。



### コイワシ料理のいろいろ講座

○日時 6月25日(月)  
10:00～13:00

○場所 阿品台市民センター調理室  
参加者 24名

お魚かたりべ 東邦彦さんを講師に招き、広島の夏の味コイワシ料理等々と教えて頂きました。日頃調理しているお魚ですが専門家の指導のもと調理してみますと、簡単でいつもと違う味となり、美味しく堪能させて頂きました。

### サマーコンサート

○日時 8月26日(日) 13:30～15:00

○場所 阿品台市民センター大研修室 参加者 60名

出演はESTCION (エスタシオン) の3名の皆さん。韓国の伝統楽器カヤグムの深くやわらかな音色に、ボーカル Yu-ko さんの透き通る伸びやかな歌声。そしてパーカッションも相交わり素敵なハーモニーを奏でていました。



## 地安部

### 土砂災害ハザードマップ作成ワークショップの開催

○日時 : 7/9(月)、8/25(土)、9/12(水)

○場所 : 阿品台市民センター及び踏査地区

○参加者 : 阿品・阿品台地域の町内会長・自主防災関係者等

現状の土砂災害ハザードマップを基に地域住民による“地域特有の情報(避難に利用する道、日頃危険だと思える箇所、過去に災害が発生した箇所等)”を収集・整理し、ハザードマップへ反映させることで、より地域の実情に沿った「土砂災害ハザードマップ」の作成を目的にワークショップが開催されました。1回目は図上による地域情報の確認、避難経路の検討。2回目はまちあるきによる現地確認。3回目はハザードマップ最終案の確認でした。阿品・阿品台地区土砂災害ハザードマップとして来年3月に各戸に配布される予定です。

